

【イベント名】
第9回 ロシアとの内視鏡テレカンファレンス

【期日】 2020.03.16

【会場】九州大学病院（日本）、ヤロスラヴリ地域癌病院（ロシア）、ヤロスラヴリ鉄道病院（ロシア）、ウラジオストク鉄道病院（ロシア）、ニジニ・ノヴゴロド地域臨床腫瘍センター（ロシア）、ロシア国立医学研究大学（ロシア）、国立心臓・内科センター（キルギス）、中央アジア研究教育ネットワーク（キルギス）、順天堂大学（日本）、大阪国際がんセンター（日本）、モスクワブルデンコ病院（ロシア）、シンフェロポリ内視鏡専門センター（ウクライナ）、日本モンゴル教育病院（モンゴル）、イシク・クル地域病院（キルギス）、キルギス国際医科大学（キルギス）

【概要】
第8回ロシアとの内視鏡テレカンファレンスでは、胃噴門部と食道胃接合部の早期癌に焦点を当てた。臨床的に判断が困難な2症例が発表され、内視鏡所見、組織学的特徴、患者管理について参加者と専門家を交えて議論された。全施設との意見交換には、オンライン投票システムを用いた専用の質問票を使用した。



ニジニ・ノヴゴロド地域臨床腫瘍センターの様子。

撮影場所：ニジニ・ノヴゴロド地域臨床腫瘍センター



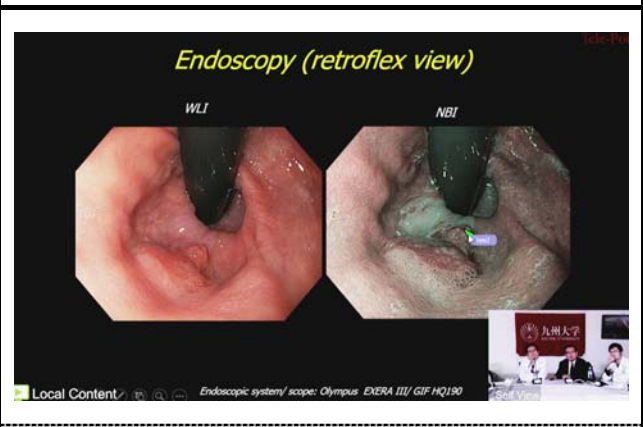
モニタに映し出される接続施設。

撮影場所：九州大学病院



シンフェロポリ内視鏡専門センターの様子。

撮影場所：シンフェロポリ内視鏡専門センター



Tele-Pointerを利用した発表。

撮影場所：九州大学病院



九州大学病院の様子。

撮影場所：九州大学病院



ヤロスラヴリ地域癌病院の様子。

撮影場所：ヤロスラヴリ地域癌病院